

### 憲法第九条

#### 戦争の放棄

- 1 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
- 2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

# 浜通り医療生協ニュース

2022年1月 第266号



発行 浜通り医療生活協同組合 編集 機関紙編集委員会  
〒971-8151 いわき市小名浜岡小名字山ノ神40  
組織部 92-3099 FAX 92-3105  
ホームページ <https://www.hamadori-coop.jp>



### 私たちの現況

(2021年11月30日現在)

組合員数 17,713人  
出資金総額 5億4,657万円  
一人当たりの平均 30,857円

今年もよろしくお祈いします



前列左から：栗林さん(健康管理室)、志賀さん(リハビリ科)、椎名さん(検査科)、天野さん(放射線科)  
後列左から：秋元さん(栄養科)、左近司さん(組織づくり委員長)、佐野さん(通所リハビリテーション)、野口さん(薬局)

おめでとうございませす  
2022年  
新年あけまして

2022年



コロナ禍の  
医療・介護職員へ  
温かい応援！

二〇二〇年より続く新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、みなさんが安心して来院・利用できるように、手すりやドアノブなど施設内の清拭を続けています。また、手指消毒をこまめに行っているのに加え、今の時期は乾燥により肌荒れしやすいので、衛生面から見ても保湿は欠かせません。

職員の現状をもとに全一支部で構成される組織づくり委員会が協議し、二〇二一年度もコロナ禍で奮闘する職員を応援しようと、パートも含めた全職員へ昨年大好評だったハンドクリームをプレゼントしました。

受け取った職員より、「昨年のハンドクリームは助かった。直ぐに使用しました」「今回もプレゼントしていただいで、とても嬉しい」と、組合員からのエールに大喜びと感謝の声がありました。引き続き感染対策に努めていきます！



### 事業所のご案内

小名浜生協病院	☎ 53-4374
附属せいきょうクリニック	☎ 53-4372
介護医療院	☎ 53-4374
地域連携支援室	☎ 53-4374
在宅福祉センター	☎ 92-2400
訪問看護ステーションかもめ	☎ 53-5190
通所リハビリテーション	☎ 73-8760
デイサービスセンター岡小名	☎ 73-3900
ヘルパーステーション	☎ 92-2480
特別養護老人ホーム にじの郷	☎ 73-0266



## 閉塞の厚い壁の向こうに



理事長 矢吹 道德

新年明けましておめでとうございませす。今年も宜しくお祈い申し上げます。世界的規模で地球を席巻した、新型コロナウイルスによるパンデミックは、第六波の危険性が喧伝される中、一応の安定を見せております。一日も早い組合員活動の再開を願っております。

さて、年末に発表された厚生労働省の「医療経済実態調査」は、全国の病院の経営が、「コロナによる「受診控え」等による影響で、一般病院も国立病院も赤字で、全国の医療機関は、補助金によって辛うじて病院経営を維持しているということが明白になりました。日本医師会中川会長の指摘する通り、全国の医療機関と医療人は、「大変疲弊して」います。そんな中でも財務省は、なお一層の医療費の削減を目指し、診療報酬の削減を主張しているのです。政府が新自由主義に基づく、「公共の営利化」を政策の基本に据えてから、社会を維持する基本的機能が破壊され続けてきました。今こそ、主権者として、「生命と生活」擁護のため取り組む時です。

人間が尊重される社会の実現のために共に奮闘しましょう。閉塞の厚い壁の向こうには、希望と未来が待っているはずですよ。

# 浜通り医療生活協同組合の 2021年度経営状況 及び 2022年度の展望

専務理事 國井勝義

## 二〇二二年度の経過

三月初めより新型コロナウイルス感染症(以下コロナ)の拡大から始まりました。病院、クリニックをはじめ、各介護事業所においては、最大の感染防止対策を取り、事業所から感染者を出さない事を徹底して、全職員で取り組んで来ています。おかげ様で、患者、利用者、職員から一人も感染者を出していません。

一方で事業経営としては、コロナ感染症の影響により「入院・外来の患者、介護事業所の利用者」の減少から、半期(四月〜九月)で見ると、医療・介護事業ともに昨年度に引き続き「減収減益」となり、厳

しい状況にあります。但し、緩やかではありますが、七月から回復の兆しが見えて来ていることも事実です。また、組合員活動も色々な制約を受けながらも活動を維持して来ていますが、出資金や組合員総数は、年度初めより「マイナス」となっています。一〇月中旬よりコロナ感染症が落ち着いている状況が続いていますが、感染拡大の第六波が来ることを前提に、対応準備をすすめています。

## 二〇二二年度にむけて

展望としては、厳しい状況を予測しながら、コロナ感染症がどういう状況になるうとも、この二年間の新型コロナウイルスウイラスとのたたかいの経験を活かし、患者・利用者の安全・安心を第一に、地域の皆さんから利用していただける医療・介護事業所を目指して、後退することなく、職員・組合員、地域の皆さんと一緒に前進していきたいと思えます。

## 組合員へお願い

今年度末には、公告の通り定款に従い「みなし自由脱退」処理を行います。組合結成以来初めて行うこととなり、対象者が多数となっております。次年度は、組合員数も出資金もマイナスからのスタートとなります。

## 原発被災地をゆく

―あれから一〇年の現状とは―

一月二〇日(土)に、まちづくり委員会主催で原発被災地の視察を行いました。講師は「原発事故完全賠償させる会」事務局長であり、まちづくり委員長菅家新さんが務め、参加者へ現状を伝えました。視察の時のようすや今の被災地について、菅家さんにインタビューしました。

被災地の視察を一四名の参加で実施し、その中には、岡小名居住の若者二人がチラシを見て申込がありました。

今回は、Jヴィレッジ、宝鏡寺、夜ノ森駅、大川原地区、請戸小学校、大平山などを視察してきました。「住民から見た復興の状況を視察する」ことが目標でしたが、「住民の帰還」を諦めて「新住民のための町づくり」になっている様子が分かりました。行政は「住民が帰還しない」からと「企業誘致の条件には従業員を連れてくること」が入っているそうです。復旧す。これを取り戻すには、組合員の絶大な協力・行動なしには、対応できません。

私たちの目指す「健康で住み続けられるまちづくり」実現に向けて、更なるご協力よろしくお願ひします。

助かっている事実を知りました。常日頃から防災意識を住民や教職員、そして子どもたちが持っていたことですが、その重要性を学びました。

宝鏡寺では「非核の火」と「伝言館」を見学しました。「ヒロシマ・ナガサキの火」として東京上野の東照宮から預かり、その「火」は、「ビキニとフクシマ」を加えて



参加者に当時の状況を伝える菅家さん(写真左側)

火でした。

「伝言の灯」とし、総称を「非核の火」としています。これは、「人殺しの核兵器」と「平和利用と叫ばれた原発」の原子核を同列に置いた、世界で初めての「火」です。どちらも国民・住民のための核ではありませんでした。その警告のための

「非核の火」以外は宝鏡寺住職の早川さんと立命館大学名誉教授の安斎先生の私財で作っているものです。少なくとも「非核の火」の会員になって、その永久保存の力になりたいものです。次回の視察をお楽しみに。

## 住所不明の組合員の「みなし自由脱退」手続きについて(公告)

転居等により住所の確認ができなくなっている「みなし自由脱退」手続きの対象となる組合員が2021年3月現在3,200人います。

この方々について、定款第10条第2項および、「みなし自由脱退手続きに関する規約」に基づき、2022年3月末日をもって、みなし自由脱退手続き処理をいたします。

つきましては、お心当たりの方は**組織部にて住所変更手続きをお願いいたします。**

尚、1月4日〜2月4日の期間中、対象の組合員名簿を生協病院・クリニック・組織部に設置しています。

【連絡先】

組織部 ☎(0246)92-3099

2022年1月1日

浜通り医療生活協同組合  
理事長 矢吹道徳



支部運営委員会のときのようす  
(洋向台集会所で月一回開催)



支部結成総会のときのようす  
記念講演として、「コレステロールを下げる食事」を学びました

# 支部運営委員会紹介 vol.8

## 江名支部

浜通り医療生協は一一支部あり、市内各地で活動しています。そこで支部の要である運営委員さんたちにスポットを当てながら、支部運営委員会の紹介をします。ここぞでしか聞けない秘話があるかも！？

第八回目の江名支部は、二〇二二年三月二七日に結成し、二〇二二年に一〇年を迎えます。活動範囲は、江名・折戸・中之作・永崎・洋向台・合磯地区で、支部内の手配り率は一〇〇%近くあり、組合員同士のつながりが強い支部です。今回、支部長の吉田實さんにインタビューしました。

現在の支部運営委員会の構成は、女性五名・男性三名・理事一名の九名です。年齢は七〇〜八三歳の高齢者団体ですが、活動は各専門委員会からの報告を受け、各行事への積極的に参加するなど活発です。特にニュースの折込ボランティア、病院の清拭用布の裁断ボランティア、ニュース手配りボランティアを頑張っています。今年度は組合員の仲間ふやしが思うように進まず悩んでいます。また、班活動の広がりや無く、同じ顔触れになっており、地域の組合員の参加をどう増やしていくか課題です。ここで新しく運営委員に参加したSさんとの出会いは生協ニュースを手配

り中に、Sさんが通りに出てきて両手を広げて私を止めました。そして、「仕事から解放され、何か生協の手伝いをしたい」といきなり申し出てくれました。このような体験は初めてで、私もビックリしました。その後すぐに総代、運営委員を引き受けてくれて、ニュース手配りにも参加していたのだと聞いておりました。

のことが、私たち運営委員全員にも大いに刺激となりました。江名支部は新しい人からベテランまで存在します。問題があると、ベテランの適切なアドバイスがあり、運営を助けてくれます。支部の地域の広さ、組合員の数からすると、あと運営委員を二〜三名増やしていきたいと思っています。



地元FMで文学散歩の番組で解説をされている鈴木英司副理事長が市内各地をぶらり…感じたことをエッセイにまとめてお知らせします。

### 災厄に想う

あけましておめでとございます。以前書いたことがあったけれど、美術館・博物館巡りが好きで、そう深い知識がある訳ではないものの、年に数回は東京・上野界隈に出掛けたものだった。コロナ禍の二年間、東京都内でも夜の街には「ろくに出不い日々の連続であった。多くの人もまた同様であったろう。

緊急事態宣言やら蔓延防止等重点措置地区指定やらで、この間多くの文化施設、とりわけ私立のそれは重大な危機に陥っていると報じられているし、同様にそれ

らを会場・舞台として活動するアーティストも苦境に喘いでいる。そしてコロナ禍が収束すれば事態は改善するかもしれない、そう楽観視できる状況にはないと思う。

宴会の類や旅行なども元の状態に戻るには相当の間、年数が必要だとの見方も示されているが、何より大きいのは、近年この国を覆う「明日に役立つ、お金になる」ものが重要視され、一方で「今やる必要があるのか、何の役に立つのか」とされるもの(芸術・文化などはその典型と言えよう)を、著しく軽視する風潮である。

現在NHKの朝ドラは再放送のものも含めて戦前の

社会の姿を描いているが、既にその中にもこうした傾向が見てとれる。それ程時を遡らなくても、十年前の東日本大震災・原発事故の際にも同様のことがあったように思う。

しかしながらそのような困難時にあっても、多くの人々は文化的なものに接することを心待ちにしたのであったし、アーティストもまたそれに応えたのであった。一つだけ例を挙げれば、二〇一一年一〇月に宮城県美術館で開催された「フェルメール展」では、作品の放射能汚染を危惧する所有者(ヨーロッパの美術館)を説得するため、敢えて常磐道や東北道を通らず、日本海側を経由して作品を輸送したと語られている。結果は大盛況だったとのこと。

些か大袈裟に言えば、心にも免疫力が必要というところか。

☆☆読んでみてからクイズ266号☆☆

組合員から職員へ贈られたプレゼントは何ですか?

○○○○○○○○

クイズ当選者には、まちかど健康チェックで場所を提供していただいているマルトの商品券 1,000 円を抽選で5名に贈呈します。

みなさまのご応募お待ちしております。  
(当選時の宛先、ご住所をお忘れなく)

切は 2022年2月末日 消印有効  
当選発表は 268 号にて

はがきは…  
971-8151  
いわき市小名浜岡小名字山ノ神40  
医療生協ニュース「266号」係

電子メールは…  
info@hamadori-coop.jp  
題名を「266号クイズ応募」とお願いします

応募先

社会の姿を描いているが、既にその中にもこうした傾向が見てとれる。それ程時を遡らなくても、十年前の東日本大震災・原発事故の際にも同様のことがあったように思う。



### 組合員の声

ハガキに寄せられた組合員さんの声を一部ご紹介いたします。

●いつも楽しみに拝読させていたでいます。(常磐西郷町)

○いつも生協ニュース楽しく拝見しています。有難うございます。コロナも一月になり、やや落ち着き一安心ですが、皆様くれぐれもお体たせつにお祈りしております。(小島町)

●(一)一月号健康診断記事「同封チラシ」に「じの郷だより」より「私も先日胃の検査の予約をした所です。小名浜は遠いのでなかなか行けません。今回の「じの郷だより」家族(夫)の介護をしているので、口腔ケアの仕方がとても役立ちそうです。歯ブラシを使うだけではどうしてもきれいにするのが難しかったので。

## 神白支部



11月6日 八幡屋で秋のゆったり温泉旅♪  
心も体もほっかぽかに温まりました

## 2021年

# バスハイク 写真集



新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いてきた11月に、バッチリと感染対策をしてバスハイクができた支部・班を紹介します♪

※記念撮影のため、一時的にマスクを外しています。

## 岡小名・湘南台支部



11月11日 東日本大震災から10年が経った2021年  
あの時のこと、これからのことを学びました

## 泉支部



11月8日 幻想的な霧が立ちこめる羽鳥湖「プリティッシュヒルズ」  
マナーハウス前のシェークスピア像の前で

## 勿来支部



11月17日 コロナ禍で遠方に行けないからこそ、市内の観光地を  
ゆっくりと観てきました (いわき新舞子ハイツにて撮影)

## 中央台・郷ヶ丘支部 みんなでウォーク班



11月18日 あづま総合運動公園で紅葉ウォーク！  
コロナに負けず、みんなで楽しく歩きました

バスハイク以外の組合員活動の写真も  
紹介します☆彡

※記念撮影のため、一時的にマスクを外しています。

## 2021年

# 組合員活動の1コマ

## 中央台・郷ヶ丘支部 ひなたぼっこ班



11月17日 暮らしの伝承郷内の古民家一軒を貸し切ったの芋煮会♪  
温かな日差しの下、ほっくほくの芋煮をみんなで味わいました

## 緑化ボランティア



暑い日も寒い日も1年間おつかれさまでした！  
緑化ボランティアのみなさんのおかげで、  
きれいな緑に囲まれた生協病院です♪